



6



7



8

また、今回は招待選手として、球磨村役場の地下翔太さんが参加者と一緒にコースを駆け抜けました。地下さんは、一昨年、自治体派遣職員として町で震災関連業務に従事しています。

スタートが近づくと、雨も小康状態になり、合図とともにみんな一斉にコースへと駆け出しました。いつもの大会とは違ったコンディションながらも、参加者は笑顔にあふれていました。

思い思いのペースでコースを駆け抜けた後、毎年恒例となっている、ボランティア(婦人会、陸上自衛隊の皆さん)による真っ白なご飯とうま味たっぷりの豚汁が振る舞われると、心地よく疲れたランナーの体に染み渡りました。

アトラクションでは、熊本県警察音楽隊によるJ・POPや演歌など多岐にわたる楽曲が演奏され、隊員による美声もお披露目されました。同音楽隊は、この日のために通常の警察職員としての業務をしながらも、業務時間外に練習を

センスのある言葉選びで
毎回大会参加者を
楽しませてくれる
名司会の
村口さん



重ねてきました。

また演奏の間には、オレオレ詐欺や防犯ブザーなどについて、防犯知識の啓発も行われました。

閉会後には、お待ちかねのお楽しみ抽選会が開催されました。賞品は航空機の往復チケットやマウンテンバイク、食事券など豪華で盛りだくさん。司会はおなじみ「益城走ろう会」の村口省三さんで、そのユーモアたっぷりの軽妙なトークに、会場は笑いに溢れていました。

天候が心配された今大会でしたが、西村町長の開会式での言葉どおり、参加者たちの熱気により雲が吹き飛ばされたのか、途中から「復興への光」を感じさせるような晴れ間ものぞき、大盛況のうち幕を閉じました。

⑥招待選手の地下さん。今回はランナーとして町を訪れました ⑦いつも以上に気迫のあるダンスを披露したリズムマーケットの子どもたち ⑧公園のつじから雨粒が滴っていました



18



15



12



9



19



16



13



10



20



17



14



11

⑨来賓の坂本でつし衆議院議員も参加者と一緒に汗を流しました ⑩⑪笑顔で駆け抜ける参加者たち ⑫⑬完走後に、カメラを向けると皆さんハイテンションで撮影に対応してくれました ⑭家族でだんらんしながら、配布された昼食に舌鼓 ⑮⑯熊本県警察音楽隊による演奏と歌の披露。隊員の熱のこもった「火の国旅情」に全員聞き入りました ⑰はびまるも同時開催されました ⑱⑲毎年大会を支えている皆さん(上から婦人会、陸上自衛隊) ⑳抽選会に沸き立つ場内